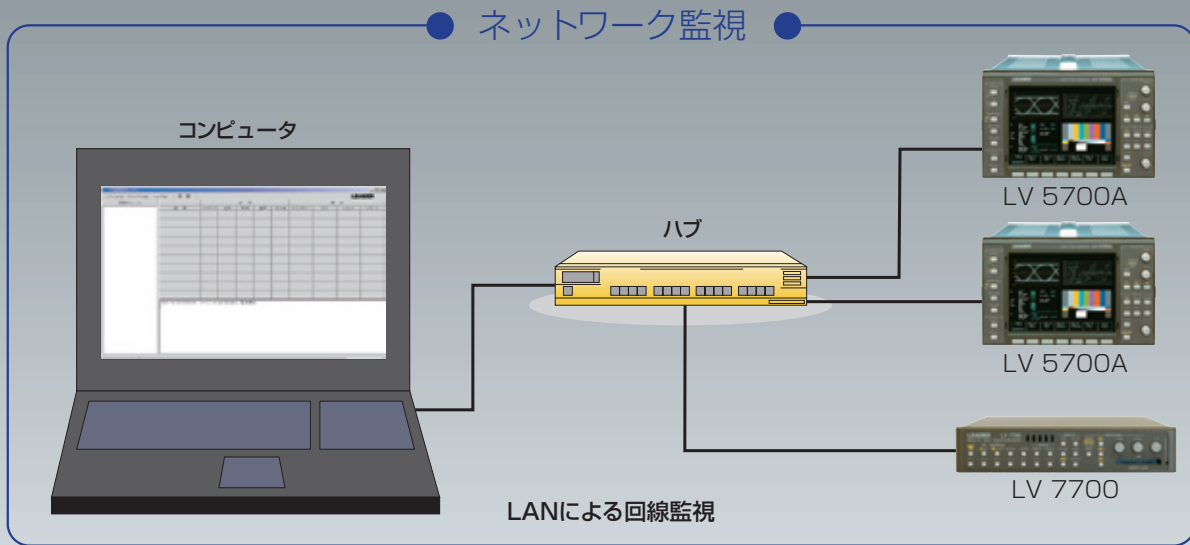


ネットワーク時代に対応した LAN 接続による監視機能



FS 3019 SDI 信号回線監視ソフト

概要

本システムは、SDIマルチモニターLV 5700AとマルチSDIラスタライザLV 7700の利用範囲を広げるHD-SDI/SD-SDI回線監視システムです。

システムは、本仕様のソフトウェアがインストールされたパーソナルコンピュータとLV 5700A、LV 7700で構成され、コンピュータとLV 5700A、LV 7700間はイーサネット (LAN対応) によるネットワーク上で接続します。

特長

- 本回線監視システムは、LV 5700A、LV 7700のエラー検出機能によりLV 5700A、LV 7700より出力されるエラー情報(ログ)をコンピュータに転送し、コンピュータの画面の上でエラーによる警告及びその警告に基づくログの確認ができます。又、AVIファイルを利用して警告音を出すことも可能です。
- LV 5700Aのキャプチャ機能により波形を確認することも可能です。
- LV 5700A、LV 7700を合計最大50台まで接続できます。
- エラーログの時間の正確をきすためコンピュータより時間情報をLV 5700A、LV 7700に転送するので個体間時間のバラツキが発生しません。
- 本システムはLV 5700Aが備えている検出項目をネットワークを介して接続されたLV 5700A、LV 7700個々に設定できます。

● 基本ソフトウェア仕様

対象OS: Windows 2000プロフェッショナル、XP(日本語版)
Windows 95、98、MEでは動作しません。
「Windows」は、マイクロソフト社の登録商標です。

● イーサネット

10BASE-T / 100BASE-TX

● システム構成

パーソナルコンピュータ本体.....1台
(Windows2000 SP2以上、XP SP1が稼働するコンピュータ)

LV 5700A、LV 7700.....合計1台～50台